

れわれ向ふの扉敷の白壁造の格子作の竹の暖簾

のお嬢子さんから受取つた、し、し、しつかり

お渡し申しませう

12 あかやのせい、あかやのせい、あかやお初子、

お猫子、誑して、お茶碗ぶつかして、買うに買

はれぬ、接ぐにつがれず、一もんめ、られられ

一もんめ、二本柳さ、雀わ、巢をくつて、落ちて

お鷹にさわられた、おやなわ、おやなわ

珠鷄の話

(第三卷第十一號の續き)

久 永 達 倫

珠鷄の卵は、小さくて、殻が厚いから利益が少

ないなどいふ人があるが、決してそうでは無い一

個の重量十二匁は大丈夫ある、そして前にもい

ふた通り、殻が厚いから産卵の時などは、取扱上

大に便利である。

彼は活潑敏捷健歩と云ふてよかるう、そして他

の鶏のように、草根樹株を堀りちらす事が無いか

ら、作物を害するなど、云ふことが無くて安心で

ある。

飼料は、蝦蟇バツタを始めとして、その他蟲の

類を啄食するが、冬期は米とか麥であるが、一番

好むのは、粟と稗である、又副食として、石炭、

貝がら等を給與するがよいのである。

肉質は先づ、雉子(日本産の)と、大同小異、

淡泊香味柔軟と云ふて宜からう。

終に臨んで、記者は、本會々員諸君に感謝しなければならぬ

のは、本稿の延載になつた事である、これは全く、記者の病氣

であつた爲なので、不得止次第なのである、何卒會員諸君之を

諒せられよ。

● 正誤 前回の本題歐文中Suisia Guineaの誤につき茲に正誤す